

## 日本発ドイツ便り～ケルンの街

今回、ハードなスケジュールながら、勝手に「我が第二の故郷」と思っているケルンに里帰りしました。二年ぶりです。ケルンでの滞在中に私を孫か娘のようにかわいがってくれた夫婦(もう二人とも 80 歳近く!)と友人に会いに行くのが目的でした。

まず、私がケルンを離れた直後に新しくなったケルン・ボン空港に到着!(例の運賃 0 ユーロの飛行機です。)以前はバスで行くしかなかったのですが、新しく空港に駅が完成し、今は、中央駅から S-Bahn で 15 分くらいで行けます!その他、ICE も停車するので、ここからドイツの主要都市には鉄道で行くことができます。



駅の様子。明るくて、開放感があります。停まっているのは ICE(ドイツの新幹線)です。

ケルンの中央駅は有名な大聖堂(Dom:ドーム)のすぐ横にあります。なので、(来る方向にも抛りますが)電車がライン河にかかる橋を渡って中央駅に近づくと、ドームがだんだん迫ってきます。(当然ですけどね。)毎日見ても飽きなかった風景ですが、久々だとなおさら感動的。つい「ただいま!」と言いたくなるひと時です。



ちょうど電車が写っていますが、この橋を通過して、中央駅へ！

いつも「観光客」として訪れるウィーンその他の街とは、違い、ケルンは一応「元住民」ですので、なんだか、「帰ってきたぞ！」度が違います。

2年のうちに、大きく変わったか、といわれると、なかなか難しいですが・・・。



たとえば、中央駅とドームを結ぶ階段が2年前には大工事中で通行禁止だったのが（まだこれは完成に近い方でその前はホントに仮設の階段でした。）



いまや、綺麗になっていました。このドーム周辺って、一年中、恐ろしく風が強いんです。ドームがあるから風が強いのか、それとも、もともと風の強い場所にドームを建てたのか、どっちでしょうね？

ケルンはドームを除けば、特に目玉となるような観光名所はないのですが、（わざわざそれを観るために旅行するほどの、という意味です。もちろん、素晴らしい美術館やライン河や旧市街など、面白いところはたくさんありますよ。）何度みても、このドームには圧倒されます。



毎日毎日たくさんの観光客が押し寄せては、なんとか全景を撮ろうとがんばっていますが、なんせ巨大すぎて、難しいですね。カメラを覗きながらどんどん後ろに下がっていく人続出です。☺



ライン河沿いを散歩しながらなんとなくドームをみると、見慣れないものが…。なにやら、変な

像ができていないではないですか！ 一見フィレンツェの「ダビデ像」風ですが、この肌色といい、近くによったら、結構やばい顔でした…。よくライン河沿いに何気なく芸術作品が展示されていたりするので、(面白かったのは、ある時期、河沿いのベンチが、一つずつ異なるアーティストがデザインしたものになっていたこと！もちろん実際に座れました)その一環かもしれません。というか、この像も期間限定であることを祈ります…。



ちょっと角度はちがいますが、これが通常時の風景。  
同じ街に何回も行って、定点観測するのも、なかなか面白いと思いませんか？



晴れた日にはドーム見学のと、Kölsch(ケルシュ:ケルンのビール)を片手にライン河沿いをのんびり散歩もいいですね。運がよければ、草を食べながら川岸を移動中の羊さん達に遭遇するすかも！以上、久々の KÖLN からでした。